

公開座談会の開催結果について

協働の事例集の制作の一環として、現在市内で協働事業を進める若手実践者を各分野からお招きし、本市の未来につながる協働とマルチパートナーシップのあり方について座談会形式でお話しいただいた。内容は事例集の第3章に収録する。

1. 開催概要

催事名：協働の事例集制作プロジェクト・公開座談会「未来を築く協働とマルチパートナーシップ」

日時：平成29年11月10日（金）10:00～11:30

場所：仙台市市民活動サポートセンター 地下1階 市民活動シアター

主催：仙台市

内容：多様な主体による持続的な協働のまちづくりの進め方とネットワーク構築のアイデアを探る

出演：・社会福祉法人仙台市社会福祉協議会地域福祉課 主事 石川 達也 氏
 ・特定非営利活動法人アスイク 代表 大橋 雄介 氏
 ・特定非営利活動法人とっておきの音楽祭 事務局長 菊地 新生 氏
 ・東北学院大学 学長室地域共生推進課 其田 雅美 氏
 ・特定非営利活動法人都市デザインワークス 豊嶋 純一 氏
 ・アリ・ティーヴィ株式会社 副社長 浜 知美 氏
 ・一般社団法人Granny Rideto 代表理事 桃生 和成 氏
 ・仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室 主任 柳谷 理紗 氏

(※50音順)

司会：宮城大学事業構想学群事業計画学科 准教授 佐々木 秀之 氏

2. 内容

「多様な主体による持続的な協働のまちづくりの進め方とネットワーク構築のアイデアを探る」をテーマに、出演者が協働の活動を通じて得たアイデアや課題等を共有した。

「ネットワークの構築」については、相手の意見を聴き相手を理解することや、情報発信を積極的に行うことが重要との意見が出され、自身の活動の中で特に心がけてきたことなどを紹介された。

また、「持続的な協働のまちづくりの進め方」については、協働促進のための情報共有やコーディネーター育成等の仕組みの充実が提案されたほか、協働に取り組む中で課題・目標を互いに共有し認識を合わせることや無理をしないことが必要といった意見が出された。



座談会の様子